

地域包括支援センター／基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所	民生委員・児童委員
1 調査対象：県内地域包括支援センター約100箇所 調査対象：県内基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所約240箇所 2 報告者の選定方法：全数 3 調査系統：栃木県一地域包括支援センター 調査系統：栃木県一県内基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所 4 調査方法：郵送調査	1 調査対象：民生委員・児童委員（単位民児協会長）179人 2 報告者の選定方法：全数 3 調査系統：栃木県一市町民生委員児童委員協議会一単位民児協会長 4 調査方法：郵送調査
I. 回答者について 問1 <u>事業所種別を教えてください。（あてはまる番号1つに○）</u> <u>1. 地域包括支援センター 2. 基幹相談支援センター</u> <u>3. 障害者相談支援事業所</u> 問2 <u>ご回答いただく方の職種を教えてください。（あてはまるもの全てに○）</u> <u>1. センター長・管理者 2. 保健師・看護師 3. 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士</u> <u>4. （主任）介護支援専門員 5. （主任）相談支援専門員 6. 就労支援員 7. その他の職種</u> 問3 <u>貴センター・事業所の所在市町を教えてください。</u> <u>【 市・町】</u>	I. 回答者について 問1 <u>市町名、単位民児協名を教えてください。※公表することはありません。</u> <u>【市町名 】</u> <u>【単位民児協名 】</u>
II. ケアラーからの相談について 問4 <u>貴センター・事業所におけるケアラー支援に関する認知度を教えてください（あてはまる番号1つに○）。</u> 1. <u>全ての職員</u> が知っている 2. 多く（半数以上）の <u>職員</u> が知っている 3. 一部の <u>職員</u> は知っている 4. いずれの <u>職員</u> もあまり知らない 5. 知らない 問5 令和4年度に、ケアラーなどから受けた相談件数などを教えてください。 相談延べ件数の総数（ ）件 (1)うち家族介護者からの相談（ ）件 (2)うちケアを必要とする本人からの相談（ ）件 (3)うち家族介護者及びケアを必要とする本人の両方からの相談（ ）件 ※1 知人や近所の人からの相談は(1)に含まない。 ※2 (3)の記載に当たっては、1つの相談案件について、家族介護者及びケアを必要とする本人の両方からの相談件数を集計している場合に記載するものとし、その場合(1)と(2)に相談件数の記載は不要となります。（重複回答となるため） ※3 相談件数を把握していない場合は空欄でも差し支えありません。	II. ケアラーからの相談について 問2 <u>あなたの所属する単位民児協におけるケアラー支援に関する認知度を教えてください（あてはまる番号1つに○）。</u> 1. 単位民児協内の <u>全ての民生委員・児童委員</u> が知っている 2. 多く（半数以上）の <u>民生委員・児童委員</u> が知っている 3. 一部の <u>民生委員・児童委員</u> は知っている 4. いずれの <u>民生委員・児童委員</u> もあまり知らない 5. 知らない 問3 令和4年度に、ケアラーなどから受けた相談件数などを教えてください。 相談延べ件数の総数（ ）件 (1)うち家族介護者からの相談（ ）件 (2)うちケアを必要とする本人からの相談（ ）件 (3)うち家族介護者及びケアを必要とする本人の両方からの相談（ ）件 ※1 知人や近所の人からの相談は(1)に含まない。 ※2 (3)の記載に当たっては、1つの相談案件について、家族介護者及びケアを必要とする本人の両方からの相談件数を集計している場合に記載するものとし、その場合(1)と(2)に相談件数の記載は不要となります。（重複回答となるため） ※3 相談件数を把握していない場合は空欄でも差し支えありません。

地域包括支援センター／基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所	民生委員・児童委員
<p>Ⅲ. ケアラーに関する支援について</p> <p>問6 <u>ケアラー本人への直接的な支援として、ケアが必要な人をサービスに繋げること以外に、どのような支援を行っていますか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</u></p> <p><u>1. 家族介護者に対するアセスメントの実施</u> <u>2. 家族介護者に対する自己チェック票※の配布</u> <u>3. 相談しやすい日時や場所での相談窓口の設置（なんでも相談会など）</u> <u>4. 介護に関する知識や技術を伝える取組</u> <u>5. 介護者サロンの設置（居場所づくり、レスパイトケア）</u> <u>6. ケアラー同士の交流会の開催</u> <u>7. その他</u> <u>8. 行っていない</u> <u>【1～7の具体的な内容を記載してください】</u></p> <p><u>※ 自己チェック票～ケアラー本人が、家族のケアをしている自分の体調や気持ち、考え方を、ケアマネジャーなどの相談職員に伝えるためのチェック票（家族介護者支援マニュアル（厚生労働省：平成 30 年 3 月））</u></p> <p>問7 問6でお答えいただいた直接的な支援以外で、ケアラー支援として、どのようなことが必要だと思いますか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <p><u>1. ケアラー支援に関する理解の促進</u> <u>2. 支援が必要なケアラーの早期発見と相談支援</u> <u>3. 関係機関の連携などによる地域の支援体制の整備・サービス基盤の整備</u> <u>4. ケアと仕事などの両立支援</u> <u>5. その他</u> <u>【1～5の具体的な内容を記載してください】</u></p> <p>問8 問7の支援を実現するため、県や市町が取り組むべき事項は何だと考えますか（（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <p><u>1. 県民のケアラー支援に関する意識醸成（認知度の向上）</u> <u>2. 支援が必要なケアラーの早期発見に向けた相談窓口の設置、相談に応じる人材の養成・確保</u> <u>3. 関係者間のネットワーク構築・介護保険や障害福祉サービスの整備</u> <u>4. 職場の理解（ケアラー支援に関する意識の醸成、支援制度の周知等）</u> <u>5. 公的サービスの周知</u> <u>6. その他</u> <u>【1～6の具体的な内容を記載してください】</u></p>	<p>Ⅲ. ケアラーに関する支援について</p> <p>問4 <u>ケアラー本人への直接的な支援として、どのような支援を行っていますか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</u></p> <p><u>1. 市役所・町役場の担当課へ繋いだ</u> <u>2. 市役所・町役場以外の支援機関へ繋いだ（例：地域包括支援センター、社会福祉協議会等）</u> <u>3. 自らが支援を続けている</u> <u>4. その他</u> <u>5. 行っていない</u> <u>【1～4の具体的な内容を記載してください】</u></p> <p>問5 問4でお答えいただいた直接的な支援以外で、ケアラー支援として、どのようなことが必要だと思いますか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <p><u>1. ケアラー支援に関する理解の促進</u> <u>2. 支援が必要なケアラーの早期発見と相談支援</u> <u>3. 関係機関の連携などによる地域の支援体制の整備・サービス基盤の整備</u> <u>4. ケアと仕事などの両立支援</u> <u>5. その他</u> <u>【1～5の具体的な内容を記載してください】</u></p> <p>問6 問5の支援を実現するため、県や市町が取り組むべき事項は何だと考えますか（（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <p><u>1. 県民のケアラー支援に関する意識醸成（認知度の向上）</u> <u>2. 支援が必要なケアラーの早期発見に向けた相談窓口の設置、相談に応じる人材の養成・確保</u> <u>3. 関係者間のネットワーク構築・介護保険や障害福祉サービスの整備</u> <u>4. 職場の理解（ケアラー支援に関する意識の醸成、支援制度の周知等）</u> <u>5. 公的サービスの周知</u> <u>6. その他</u> <u>【1～6の具体的な内容を記載してください】</u></p>

地域包括支援センター／基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所	民生委員・児童委員
<p>IV. 支援に繋がっていない事例への対応について</p> <p>問9 介護や看病、療育などのケアを必要としている人が、そもそも相談に繋がらない理由については、何であると考えていますか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている（ケアを必要とする人がサービス利用の希望がない） 2. 家族で支えられると考えている（家族がケアをするのでサービス利用の必要がない） 3. 公的サービスを知らない 4. その他 <p>【1～4の具体的な内容を記載してください】</p> <p>問10 令和4年度において、貴センター・事業所が受けた相談の中で、ケアを必要としている人が、公的サービスの利用に至らなかった事例はありますか（あてはまる番号1つに○）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない <p>問11 問10で「ある」と回答したセンター・事業所に伺います。相談を受けた結果、公的サービスの利用に至らなかった理由は何ですか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <p>(1) ケアを必要としている方側の理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族によるケアを望んでいる 2. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている 3. 家庭内の問題を他人（行政）へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている 4. 公的サービスの内容を理解していない 5. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある 6. その他 <p>【1～6の具体的な内容を記載してください】</p> <p>(2) ケアをしている方側の理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族で支えられると考えている 2. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている 3. 本人が家族のケアを望んでいる 4. 家庭内の問題を他人（行政）へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている 5. 公的サービスの内容を理解していない 6. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある 7. 地域のサービス提供体制が不十分 8. その他 <p>【1～8の具体的な内容を記載してください】</p>	<p>IV. 支援に繋がっていない事例への対応について</p> <p>問7 介護や看病、療育などのケアを必要としている人が、そもそも相談に繋がらない理由については、何であると考えていますか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている（ケアを必要とする人がサービス利用の希望がない） 2. 家族で支えられると考えている（家族がケアをするのでサービス利用の必要がない） 3. 公的サービスを知らない 4. その他 <p>【1～4の具体的な内容を記載してください】</p> <p>問8 令和4年度において、あなたが受けた相談の中で、ケアを必要としている人が、公的サービスの利用に至らなかった事例はありますか（あてはまる番号1つに○）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない <p>問9 問8で「ある」と回答した方に伺います。相談を受けた結果、公的サービスの利用に至らなかった理由は何ですか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください）。</p> <p>(1) ケアを必要としている方側の理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族によるケアを望んでいる 2. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている 3. 家庭内の問題を他人（行政）へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている 4. 公的サービスの内容を理解していない 5. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある 6. その他 <p>【1～6の具体的な内容を記載してください】</p> <p>(2) ケアをしている方側の理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族で支えられると考えている 2. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている 3. 本人が家族のケアを望んでいる 4. 家庭内の問題を他人（行政）へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている 5. 公的サービスの内容を理解していない 6. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある 7. 地域のサービス提供体制が不十分 8. その他 <p>【1～8の具体的な内容を記載してください】</p>

地域包括支援センター／基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所	民生委員・児童委員
<p>問12 支援に繋がりにくい家庭を支援に結びつけるために、どのようなことをしていますか（どのようなことが必要だと考えていますか）（（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアラー支援に対する社会的認知度の向上 2. センター・事業所職員へのケアラー支援に関する理解の促進 3. 関係機関（行政や地域包括支援センター等）と連携した支援ニーズの把握 4. 民生委員・児童委員や自治会、ボランティア団体等の身近な支援者からの情報取得 5. 電話連絡や家庭訪問の実施 6. 本人や家族に対し、支援が必要なことを理解してもらう 7. その他 <p>【1～7の具体的な内容を記載してください】</p> <p>問13 ケアラー支援を充実させるために必要だと考えていることがあれば記載してください。</p>	<p>問10 支援に繋がりにくい家庭を支援に結びつけるために、どのようなことをしていますか（どのようなことが必要だと考えていますか）（（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアラー支援に対する社会的認知度の向上 2. 民生委員・児童委員へのケアラー支援に関する理解の促進 3. 関係機関（行政や地域包括支援センター等）と連携した支援ニーズの把握 4. 民生委員・児童委員同士や自治会、ボランティア団体等の身近な支援者からの情報取得 5. 電話連絡や家庭訪問の実施 6. 本人や家族に対し、支援が必要なことを理解してもらう 7. その他 <p>【1～7の具体的な内容を記載してください】</p> <p>問11 ケアラー支援を充実させるために必要だと考えていることがあれば記載してください。</p>
<p>★ <u>相談支援機関での取組</u>について、個別にお話をお伺いすることもございますので、御協力いただける場合は、事業所名など下欄の記入をお願いいたします。 （所在地、事業所名、電話番号、メールアドレス） ▪</p>	<p>★ <u>ケアラー支援に関する取組</u>について、個別にお話をお伺いすることもございますので、御協力いただける場合は、下欄の記入をお願いいたします。 （単位民児協名、住所、電話番号、メールアドレス） ▪</p>